2025度プログラム実施予定　旅客乗務員用

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
各月の教育テーマ （法）法令で定められた教育 （セ）セーフティで求められる教育	A	原口さんが会社作ったってよ	急のつく運転の防止とカーブの安全な曲がり方	運転を助けてくれる各種の機能を理解しましょう									
	B	矢田さんが会社を作ったってさ	経路情報を正確に調査できるか選手権1	経路情報を正確に調査できるか選手権2									
	C	労働法の基本のキを勉強しておきましょう	いつもと違うシチュエーションで危険予知してみましょう	スクリーニング検査の必要性									
	D												
事業用自動車を運転する場合の心構え（法）	旅客乗務員教育	安全運転の心構え			事故の社会的影響			事業用自動車の公共性と重要性					予備月
事業用自動車の運行の安全及び旅客の安全を確保するために遵守すべき基本的事項（法）		事業用自動車に関わる法令の理解				義務を果たさない場合の影響の把握							
事業用自動車の構造上の特性（法）					事業用自動車の特性に合わせた運転						事業用自動車の特性に合わせた運転		
乗車中の旅客の安全を確保するために留意すべき事項（法）			急のつく運転をしない カーブの安全な曲がり方						安全な速度と車間距離 乗客の状況の確認				
旅客が乗降するときの安全を確保するために留意すべき事項（法）					乗降時の旅客の安全確保					高齢者・障がい者・ベビーカー（車いす）利用者の安全確保			
主として運行する路線若しくは経路又は営業区域における道路及び交通の状況（法）			情報に基づく安全運行のための留意点	情報に基づく安全運行のための留意点				運行路線・経路における道路・交通情報の把握					
危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法（法）			危険予知のテクニック			緊急時における対応方法（交通・車両事故編）			危険予測運転の必要性 指差呼称・安全呼称			道路を利用する歩行者や自転車などの行動特性に応じた配慮	
健康管理の重要性（法）				身体面の健康管理			疾病が原因の交通事故とその予防		ストレスチェックの必要性		健康診断の必要性		
交通事故に関わる運転者の生理的及び心理的要因並びにこれらへの対処方法（法）							過労運転とヒューマンエラーの防止のために			事故を起こしやすい運転適性と欲求	飲酒運転防止のための留意点		
運転者の運転適性に応じた安全運転（法）		適性診断の種類		□適正診断の必要性と結果の活用方法 □運転支援装置の留意点						□適正診断の必要性と結果の活用方法 □運転支援装置の留意点			
安全性の向上を図るための装置を備える事業用自動車の適切な運転方法（法）													
非常用信号用具・非常口・消火器の取り扱い（法）													
ドライブレコーダーの記録を利用した運転者の運転特性に応じた安全運転（法）													
ドライブレコーダーの記録を活用したヒヤリ・ハット体験等を自社内で共有（法）													
映像を利用した教育							映像教育						
異常気象時における対処方法（セ）			緊急時における対応方法（自然災害編）	緊急時における対応方法（自然災害編）						緊急時における対応方法（自然災害編）			
労働法の学習（セ）		労働法の理解①						労働法の理解②					
乗客の救護						乗客の救護						救命救急の学習	
運行管理者（補助者）用教育			行政処分につながる違反をなくそう										